



はじめのいっぽ

心地良い5月の風は、あっという間に通り過ぎていきました。

「真夏日！」がやって来ました。玄関に「**琉金**」10匹を飼い始めました。

まだ、赤ちゃん金魚で大きくなるのが楽しみです。

太陽の日ざしを燦々と浴びて、

夏野菜トマト・ナス・ししとう・ピーマンが青々と

育ち始めました。ご馳走になる日を楽しみにしています。

ゆめ組さん！水やり、草取り宜しくお願いします！



～ アドラー より ～



ツバメ
2017年 再々度里帰り
今年は7羽誕生
キューキュー詰め！！
お家が小さく感じました。
よく寝ています。

子どもの不適切な行動にどう対応するか

1. 不適切な行動の文脈をよく観察しよう

今起こっている目先の問題を解決することだけを考えず、少し距離を置いて、冷静に子どもの行動を観察し、「どんな状況のときにその行動をするのか？」「私は今までどんな対応をしていたか？」「私の対応の効果はどうだったか？」などのポイントについて、落ち着いてチェックしてみてください。

2. 不適切な行動に注目を与えない

不適切な行動に、正であれ負であれ注目を与えると、必ずその行動は続きます。不適切な行動には、一切注目しないでおきましょう。そのためには、マイナスの感情がなくなる工夫をしなければなりません。さしあたっては、その場を離れて気分を落ち着かせてはどうでしょうか。

3. 適切な行動をしたとき、正の注目を与える

不適切な行動に注目を与えないと同時に、少しでも適切な行動には、決して「当たり前」とは思わずに、正の注目を与えましょう。

適切な行動に正の注目が与えられれば、子どもは「**私には能力がある**」「**親は私の仲間だ**」と感じます。そうすると適切な行動は増えていき、不適切な行動は自然に減っていきます。

4. 同じ状況での、より適切な行動の仕方を一緒に考える

子どもとの関係がよければ、不適切な行動のかわりにできる適切な行動を、子どもと一緒に考えることもできます。そのためには、まずあなたが成長して、マイナスの感情をもたないで子どもと話し合えるようにならなければなりません。

話し合うとしたら、あなたの考えを提案するよりも前に、まず子どもの考えをじっくりと聴いてみることです。多くの場合、子どもは答えを知っています。答えを知らなくても、話しているうちに、子どもが自分で答えを見つけ出すこともよくあります。もし答えを見つけ出せなくても、子どもの話を十分に聞いた上であれば、子どもはあなたの提案を聞いてくれるかもしれません。